

国宝 青井阿蘇神社

人吉球磨に息づく桃山の絢爛美



本殿正面

平成 20 年 6 月 9 日、青井阿蘇神社五棟の社殿群(本殿・廊・幣殿・拝殿・楼門)は熊本県で初めて国宝に指定されました。

神社が国宝指定されたのは、九州では大分県の宇佐神宮本殿に次ぎ2件目、茅葺の社寺建築としては全国で初めてです。

また、青井阿蘇神社のように社殿群を一括で指定されることは稀なことです。

国宝指定の理由として、現在の社殿群は人吉藩主相良家20代相良長毎の命により慶長年間に一連のものとして造営され、統一の意匠をもち、完成度も高いことが挙げられました。

急勾配の茅葺屋根の軒から下を黒漆塗としつつ組物や部材の面に赤漆を併用する技法など中世人吉球磨地方に展開した独自性の強い意匠を継承しつつ、彫刻や彩色、かざり銚金具などは桃山時代の豪華な装飾性を機敏に取入れ、近世の人吉球磨地方における社寺建築に大きな影響を与えています。また、廊の雲龍など要所を飾る秀麗な彫刻や特異な社殿配置などは、南九州の近世社寺建築の発展にも影響を与えたとされています。

— 熊本県人吉市・青井阿蘇神社 —



楼門

すみぎ
上層の隅木下には「人吉様式」と呼ばれる神面が取り付けられており、全国的にも類例がありません。また、天井には龍の絵が描かれています。



ほん でん
本 殿

現在の社殿群は、慶長15(1610)年から同18年に一連で造営されたものです。
×型の棧や格狭間の位置等に人吉球磨の社寺建築の特徴がみられます。



ろう
廊

龍の持ち送りは、南九州の社寺建築に影響を与たとされています。



へい でん
幣 殿

内部・外部とも華麗な装飾がみられます。柱を越えてつながる彫刻技法などが特徴です。

内部見学可能



境内見取図



文化苑見取図



けいしょうでん
継 承 殿

一部建築は元文五年(1740)以前に遡るといわれ、天明三年(1783)に「西遊記」著者の橋南鈴、寛政四年(1792)に「筑紫日記」著者の高山彦九郎が旅の途中に滞在したと伝えられます。

西南戦争では薩軍人吉隊の宿舎となるなど歴史の大きな舞台となった建造物です。



むすび回廊

1200年を超える神社悠久の歴史と1100年間奉仕続けた青井大宮司家で代々継承されて来た深遠なる文化をむすび回廊です。寛保三年(1743)の建造物。



こてい えん
古 庭 園

いにしえ偲ぶマキの大木やウメの老木をはじめとする庭園樹木。今の世まで大切に守り伝えられてきた精神性豊かな石組の歴史の日本式庭園です。

○文化苑のみ有料／(大人 300円) (小中高生 100円) (幼児 無料) ※30人以上団体1割引
○開場時間／10:00~16:00 ○定休日 毎週月曜日

交通のご案内



青井阿蘇神社 開
〒868-0005
人吉市上青井町118
TEL 0966-22-2274



車

太宰府IC—人吉IC……………172Km(1時間50分)
熊本IC—人吉IC……………82Km(1時間)
宮崎IC—人吉IC……………106Km(1時間20分)
鹿児島IC—人吉IC……………89Km(1時間10分)

バス

天神バスセンター—人吉IC……………(2時間40分)
熊本交通センター—人吉産交……………(1時間50分)
宮崎駅前—人吉IC……………(1時間40分)
鹿児島空港—人吉IC……………(1時間)

JR

博多駅(新幹線約40分)熊本駅—人吉駅(特急)(2時間20分)
博多駅(新幹線約50分)新八代駅—高速バス—人吉IC(1時間30分)
熊本駅—人吉駅(SL人吉)……………(2時間32分)
鹿児島中央駅(肥薩線經由(待ち時間含まず)人吉駅(2時間40分)
新幹線經由(待ち時間含まず)人吉駅(1時間40分)
別府駅—人吉駅(九州横断特急)(4時間45分)
※時間はいずれも目安です。

問い合わせ先

人吉市観光案内所(0966)22-2411
青井阿蘇神社(0966)22-2274

文化財に関する
問い合わせ先

人吉城歴史館(0966)22-2324